

【神戸生活創造センター】のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 4者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

施設の魅力・参入目的について

- ①類似施設の指定管理実績は無いが、企業としてチャレンジの幅を広げたい。
- ②会社として地域共創や市民とのつながりを大事にしているため、生活創造センターの事業は魅力に感じている。
- ③様々な市民交流施設の指定管理実績があり、ノウハウを活かした運営が可能である。
- ④立地が良く、地元での職員の確保が容易な点が魅力である。
- ⑤地域創生に取り組む上で、市民との交流の場は必要不可欠なため。
- ⑥類似施設の指定管理実績が豊富で、ノウハウを活かした運営が可能である。
- ⑦近隣施設とのネットワークを活かした事業展開が可能である。

自主事業・収益性について

- ①強みであるスポーツや健康づくりの要素を絡めた事業を実施したい。
- ②採算が取りづらいため、自主事業実施への期待値が大きくなると難しい。
- ③地域課題・地域ニーズに沿った事業が実施可能である。

応募条件等について

- ①現指定管理者の運営を踏襲した方が良いのか、全く新しい提案が評価されるのか、選定委員会での評価基準を提示いただきたい。
- ②試算上、現指定管理料では収支均衡も難しいように思える。公募の際には詳細な収支状況を提示いただきたい。
- ③常駐人数が指定されており、人件費に工夫の余地がないため実態に合わせた柔軟な人員配置を可能としていただきたい。
- ④仕様が長年変わっておらず業務内容の幅がとても広い。全て実施しようと思うと難しいため、実態に合わせて範囲を絞っていただきたい。
- ⑤事業実施には指定管理料だけでなく、利用料金収入が必須のため、料金設定を柔軟に設定可能としていただきたい。
- ⑥決算上収支が±0になっているが、実際は持ち出しがあるのか、その場合はどれぐらいの持ち出しがあるのか。

⑦常駐が最低でも3名必要というのは、施設規模から考えて多いように感じる。

担当者：県民生活部県民躍動課 畑中
T E L : 078-362-3894
メール：kenminyakudou@pref.hyogo.lg.jp